

# ひょうたんいけ

桜台小 学校だより  
令和3年12月2日  
第39号



現在、校長による「算数おもしろ問題」を続けています。先日、ある子が「校長先生、いい問題を考えたよ」と話をしに来てくれました。「 $21 \Rightarrow 9$ 、 $15 \Rightarrow 3$ 、 $17 \Rightarrow 5$ 、じゃあ23は？」と問題を出してくれました。「これだったら低学年の子たちも考えられるんじゃないかなあ」と言って答えを教えてくださいました。「自分たちだけじゃなくて低学年の子たちにも問題を出してあげたら喜んでくれるかもしれない」と、きっとこの子は思い、一所懸命低学年の子たちができそうな問題を考えたのでしょう。子どものやさしい一面を感じる場面でした。

桜台小学校は、【ひと（相手）を大切する】という学校づくりビジョンの重点目標から、『きょうだい学年（①1,6年 ②2,5年 ③3,4年）』というくくりを大切にさまざまな活動を行っています。先日の焼きいも行事では、上級生が下級生に関わりしっかりと面倒を見ている場面が見られました。休み時間では、一輪車を異学年の子どもたちが声をかけ合って乗っている場面が見られます。

『人は人との関わりの中でこそ成長する』とある講演者が話していましたが、異年齢の子どもたちが関わり合うことはとても貴重であり、今後も大切に見守っていきたくて考えています。

ちなみに問題を考えた子のヒントは、時刻なんだそうです。「なるほど」って思いました。  
※学校ホームページ「桜台っ子ニュース」では、日々の学校の様子をカラーで紹介しています。



## 全学年で『焼きいも』をしました。

11月26日(金)午前中、『きょうだい学年（①1,6年 ②2,5年 ③3,4年）』で焼きいもをしました。6年生が、前日の20分休みを使い、3,4年生の学年園に焼きいもができる3つの大きな穴を掘ってくれました。当日は、園芸ボランティアの皆さん6名にも来ていただき、たき木や落ち葉を投入して、炭火の準備をしていただきました。木々を炭にし、いい火かげんになったところで、子どもたちは順番に準備したサツマイモを入れていきました。その後、園芸ボランティアさんが1つずつ火の中から取り出し、とがったもので焼きいもの柔らかさを確認して、きょうだい学年用の一輪車へとのせてくれました。子どもたちは、さまざまな場所に分かれ、きょうだい学年ごとに焼きいもをいただきました。1年生の中には、6年生にサツマイモの皮をむいてもらっている子もいました。



今年度は、全学年そろって焼きいもを体験しました。コロナ禍でさまざまな活動が制限される中、子どもたちの焼きいもをほおぼる嬉しそうな顔を見ると、実施してよかったなあと感じました。上級生が下級生を思いやる姿や園芸ボランティアさんに感謝の気持ちを話している姿も見られました。6年生は、自分たちが掘った穴でできた焼きいもを嬉しそうにほおぼる下級生の姿を見て、きっと達成感を感じてくれたのではないのでしょうか。また、子どもたちは園芸ボランティアの皆さんの温かい気持ち、ぬくもりにふれ、何かを感じてくれたことだと思います。同じ日に全学年で1つの行事を体験できたことは、子どもたちにとって本当に貴重な時間になったことだと思います。

## 就学時健診を行いました。

11月25日(木)午後から、来入児童に向けた就学時健診を行いました。就学時健診は、入学を前に内科、歯科、視力、聴力の4つについて簡単な健康診断をするものです。子どもたちは、本校の職員の指示に従ってそれぞれの場所に静かに移動して健診を受けていました。保護者の皆さんには、子どもたちの育ちに大切な「食育」の話を栄養教諭からさせていただきました。来入児童は現在41名で2学級の予定です。今から入学が待ち遠しいです。



(文責 北住 昌文)